

地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる

社会福祉法人エルム福祉会
広報誌「hikari Letter」Vol.5

hikari Letter

2024年 春号

もり



仕事を通じて、
社会に参加する。

エルム福祉会の あゆみ 歴史

<今回のスポット>

“SELP みなと”

について

2003年（平成15年）4月、（社福）エルム福祉会の前身である「財団法人エルム会」はその役割を終え、（社福）エルム福祉会と合併した。それを機に、小規模作業所「エルム共同作業所」は建て替えられ、2004年（平成16年）4月「SELP みなと」として生まれ変わった。今日では40名程が利用しているが、当初は定員が19名と小規模（※1）であった。

「SELP みなと」の名前の由来であるが、『SELP』は「自助」（※2）を意味し、＜自立を目指し、働くことに挑戦する＞という願いが込められている。『みなと』は、＜一般企業に就職して、万が一失敗してもいつでも戻ることが出来て、また、何度でもチャレンジできる＞そんな拠点になりたいという思いから名づけられた。

「SELP みなと」に代わっても、利用者様の所得補償を支援の柱とする基本的な方針は変わらないが、作業の内容は企業からの下請け作業中心から、クッキーなど焼き菓子の製造・販売にシフトしていった。企業からの下請け作業は、その人に合った仕事が幅広くある点で良かったが、企業の都合に左右されやすいというデメリットが大きくなっていった時期であった。下請けはエルムの園に、SELP みなとは、自主製品にと舵を切ったのである。

なお、製品は、「同情ではなく、質に満足して買ってもらいたい」との共通した思いで作業に取り組み、さらに、商品開発からデザイン、販売までトータルに行うスタイルにこだわることで、今の「hikari no café」ブランドにつながっていくこととなる。

※1 『小規模通所授産施設（定員は19名まで）』という制度で開設した。

※2 英語の「Self-Help（セルフ・ヘルプ）」からの造語である。



社会福祉法人エルム福祉会
since 1984



1984 ~

1984 財団法人エルム会 設立
(社会福祉法人エルム福祉会の前身)

1989 ~ 1991

1989 移動スーパー「サンクス」開所

1984 小規模作業所「エルム共同作業所」開所

1991 地域生活ホーム「エルムスプリングス」開所

1997 ~ 1998

1997 社会福祉法人エルム福祉会 設立

2000 ~ 2002

2000 しいたけ菌床ハウス建設

1998 「エルムの園」開所 定員30名(現在67名)

2000 GH「第1待降寮」開所 (女性定員5名)

2004 ~ 2007

2004 「SELP みなと」開所 定員19名(現在40名)

2002 GH「第2待降寮」開所 (男性定員5名)

2004 GH「第3待降寮」開所 (女性定員5名)

2009 ~ 2012

2009 「smile」開所 (児童デイサービス、生活介護)

2005 「hikarino café 本店」開所 ※オープンは12月1日

2010 GH「第6待降寮」開所 (定員6名)

2006 GH「第4待降寮」開所 (女性定員5名)

2012 「たじまの杜」開所

2007 GH「第5待降寮」開所 (男性定員7名)

2014 ~ 2016

2014 GH「第7待降寮」開所 (男性定員7名)

2017 ~ 2019

2017 GH「第8待降寮」開所 (女性定員7名)

2016 「joy's」開所 (児童発達支援、放課後等デイサービス事業)

2018 「大田原市相談支援事業」受託

2016 「hikarino café 蜂巢小珈琲店」開所 定員40名

2018 GH「第9待降寮」開所
(アパートタイプ女性定員5名)

2016 第28回 栃木県マロニエ建築賞 優良賞受賞

2019 「放課後児童クラブValo」開所
学童保育1単位

2020 ~ 2023

2020 「紫塚児童クラブ」運営開始 学童保育2単位

2019 「hikarino café 大田原市庁舎店」開所
(A定員10名)

2020 「大田原児童クラブ」運営開始 学童保育4単位

2019 「なすの園」開所
(児童発達支援、放課後等デイサービス事業)

2022 GH「第10待降寮」開所
(男性定員7名、短期入所2名)

2022 「hikari no café 茶羅」開所・オープン

2023 GH「第11待降寮」開所
(アパートタイプ男性定員7名)

この人に、 Zoom up!!

放課後児童クラブ Valo
マネージャー 山口さん



Q1 現在の仕事内容を教えてください。

「放課後児童クラブ Valo」で紫塚小学校地区の児童支援（学習支援・生活支援・対人関係支援）を行っています。児童が楽しく、安心して過ごせるよう、「ご家庭の様子を伺ったり、学校の先生方とコミュニケーションをとることを心がけています。チーム力がとても重要なので、職員と協力し、適切な支援ができるような環境づくりに努めています。」

Q2 この仕事に就いたきっかけは・・・

「子どもの可能性は無限だ」と感じたのは、3人の子育て中、子どもの部活動を保護者として手伝った経験からです。「子どもの成長を見守る仕事がしたい」と思い、この仕事に就きました。私自身、海外や国際色豊かな環境で過ごした経験があり、今後世界で活躍していく機会が増えるであろう子どもたちが視野を広く持つて世界に羽ばたけるお手伝いできれば嬉しいと思っています。」

Q3 仕事をする上で重要だと思う事は？

「一人ひとりを大切にしていこう」と。誰もが色々な経験と思いをもっています。どんなお子様も心の奥底では言葉にできない思いが潜んでいることもあります。表面的な言動や行動だけでなく、それぞれの背景や思いに寄り添って向き合う事が、良い空間を生み出すと思っています。」

Q4 今後目指したい事はありますか？

子どもの描く絵や文字は本当に愛らしく、アートそのものです。それらを使って雑貨や洋服づくりができたら素敵だなと思っています。」

Q5 山口さんの休日の過ごし方は・・・

山中の掃除と、1週間分の食料品の買い出し等をする事が大半ですがたまには友人と外出を楽しんだりもします。また、健康オタクなので、ハーブや野草を使って食やスキンケアに活かせたらと、モクモクと自家栽培にて取り組んでいます。」

★ Valo はこんなところ！

★「放課後児童クラブ Valo」について

Valo (ヴァロ) とはフィンランド語で「ヒカリ」を意味します。フィンランドは教育大国であり、子供たちを大切にす国として知られています。子供達には、世界にはいろいろな文化があることを体感してもらい、そして一人ひとりが輝く存在になることを願います。

★基本方針 『global understanding (国際理解)』

『放課後児童クラブ Valo において、外国人スタッフや英語等に触れることのできる環境を提供し、遊びや学習を通して文化の違いを学び、国際社会で生きてゆく柔軟性を育む。』

・・・日本では急激に進むグローバル化の中で、今の子供たちにも国際社会で生きてゆく「柔軟性」が求められることとなります。放課後児童クラブ Valo では、言葉や文化などの国際理解を基本方針とし、外国人スタッフを通じ、国籍、民族、年齢、言葉、立場や考えの違い等への「理解」と「思いやり」、そして「道徳心」を養います。また、世界に目を向けると同時に、地域のボランティアの方たちに参加いただくことによって、改めて日本独自の遊びや文化を見直すこととなります。



福祉

豆知識

学童保育（放課後児童クラブ）とはどんな場所か？

● 学童保育の目的・役割

学童保育は「共働き・一人親家庭の小学生の放課後（土曜日・春・夏・冬休み等の学校、休業中は一日）の生活を継続的に保障すること」「そのことを通して親の働く権利」と「家族の生活を守る」という役割をもっています。

● 働く親を持つ小学生の家庭に代わる「毎日の生活の場」

→「ただいま！「おかえり！」で始まる学童保育の生活」
→安全で安心感のある生活（子ども同士、子どもと指導員の信頼関係が大切）

● 子どもたち一人ひとりを大切にしなければ成り立たない事業所

→保護者と指導員の信頼関係が子どもを育て、安心感のある生活をつくれます。



「それぞれ色」で、描く。



えがきかた



エルムの園

エルムの園は、1984年にエルム共同作業所を開所したのが始まりです。この頃は制度やサービス、社会の理解がほとんど整っていない時代でした。

エルムの園創設者「楡井一俊」は、支援学級（昔は特殊学級と呼ばれていました）の教員でした。自分の教え子たちが卒業後、仕事に就けず家に居たり、たとえ就職出来ても、社員の理解不足により長続きしないことが多くある時代でした。そこで楡井は、障がいのある子どもたちも、社会の一員として地域で生活できるようにと私財を投じて作ったのがエルム共同作業所です。

それから時代のニーズに合わせて変化していき、1998年大田原市中田原にエルムの園を開設しました。



障がい者就労支援への取り組み

エルムの園は、一般就労を目指す「就労移行支援事業」、福祉的就労の場である「就労継続支援事業B型」、生活面に配慮しながら働く場の提供として「生活介護事業」の3事業を行っています。

作業の内容は協力企業からいただく生産活動が主ですが、自主製品としてレーザー加工機を使った名札の作成やペットボトルのリサイクル、企業に出向いて作業を行う施設外就労等、様々な種類の作業提供を行っています。

また、一つの作業を一人に任せるのではなく、複数の作業に分ける事で、障がい特性に応じて作業に参加でき、またその機会が多く持てるよう配慮しています。

これは、創設からずっとエルムの園が目指しているものですが、利用者様に少しでも多く工賃を支給することで、その方の生活の質がより良いものになるよう願うての事です。

支援の中には、作業だけでなく生活支援、余暇活動支援も行っています。

生活支援は、生活する上でのマナーやルールの習得、仲間との関わりを通してコミュニケーション力の向上、また金銭管理のお手伝いを行い、適切なお金の使い方を支援しています。

余暇活動支援は、土曜日のクラブ活動、イベント参加が主な活動です。クラブ活動は、創作活動や運動を行っています。活動中は利用者様同士だけでなく職員も一緒になって遊ぶこともあります。遊びを通して利用者様の得意不得意を知る良い機会となり、作業への関わり方のヒントになることも多いのです。

レーザー加工製品承ります

エルムの園のレーザー加工機では、名札（ネームプレート）以外にも、表札・ノベルティグッズなども作製しています。素材、大きさ、デザインをご相談ください。一つ一つ心を込めて要望に沿ったお品をお作りいたします。



「できた！」が溢れる場所に

利用者様を支援していく中で、私たちが一番嬉しい事が、利用者様の「できた！」です。新しい仕事を覚えられた時、自分から元氣よく挨拶をするようになった時など、利用者様が社会に参加できるスキルをどんどん身に付けていき、そしてその姿は、他の利用者様・職員等周囲により良い環境を生み出せると思っています。また、出来るようになっての方が、できない方に教えられるようになれば、それは一つの「職場」として機能することになります。作業内容についても、現状で満足せず、様々な企業様から作業を受注できれば、利用者様の仕事の選択肢を増やす事にも繋がります。

今後のエルムの園は、作業支援や生活支援を通して利用者様の「できた！」を増やしていく事が、当面の目標です。また、私たちの活動を地域の方々により知っていただく事で、社会に貢献していただけるのではないかと考えています。



障がい者就労支援事業所

エルムの園

〒324-062 栃木県大田原市中田原 381
TEL・FAX 0287-20-3117

就労移行支援事業・就労継続支援事業（B型）・生活介護事業
定員 67名



それぞれ色で、描く。

「それぞれ色」とは、エルム福祉会の造語で、利用者様の「個性」や「その人が持つ力」を指し、一人ひとりが違った素敵なお色を持っている事を表します。

シゴトーク!!

～あなたのお仕事、教えてください～

障がいをもった方の「シゴト」に密着

エルム福祉会の就労支援事業所「SELP みなと」の利用を経て、大田原市内の事業所に調理員として一般就労されている2名の方に、取材をして参りました。

和泉さん



勤務 13 年目

橋本さん



勤務 8 年目

【お二人のお仕事を、間近で見学させていただきました!】

お二人のお仕事は**食事の準備**。この日の和泉さんは食事の盛り付け、橋本さんは食材のカットを担当。毎日 **100～120食** 分もの食事を作っていると聞いて、びっくり!

美味しい”と評判の「ほうじ茶ゼリー」づくり、食器の洗浄・片付けも、お二人のお仕事のひとつです。

朝は8:30にバスで出勤。毎朝その日の食数の確認をし、数を間違えないように準備をしていきます。スピードが求められますが、実際に傍で見学させていただいたところ、お二人はそれぞれの分担を素早く正確にこなしており、その手際の良さに驚かされました。お二人は、「SELP みなと・hikari no cafe で経験した事が活かしている」と話してくださいました。

同じ職場で働く方たちにお話を伺うと、「私たちより速くて正確です」「お二人が居てくれないと、困ってしまいます」といったお声があり、和泉さんと橋本さんはこの職場にとって大切な存在であることが伺えました。



前号(2023年秋号)にてご紹介させていただきました「SELPみなと」をご利用中の月井さん。努力の末、当時の目標であった普通自動車免許を、見事取得する事ができました!
現在はご自身の運転で、毎日元気に「SELPみなと」に通勤しています。
こうして努力された利用者様が目標を達成される事は私たちとしても大変喜ばしく、とても感動させられました。
次の目標は、何でしょうか?

「目標達成!」

SELPみなと 月井さん

利用者様の、どこかほっこりするような出来事・エピソードを紹介

感動・笑顔・感謝

今号の

WHAT'S NEW!

hikari no café

これからの季節におすすめしたい! 「ダッチコーヒー」

茶羅のダッチコーヒー (アイスコーヒー)

ダッチコーヒーとは、「水出しコーヒー」の事で、インドネシアでは古くからこの抽出方法を行っていました。当時インドネシアはオランダ領だった為、ダッチコーヒーと呼ばれています。

茶羅のダッチコーヒーは1滴1滴水を落とし、24時間かけて抽出をします。自家焙煎のコーヒー豆を使用し、ワイニーなコクと香りが楽しめます。

コーヒー豆の風味をそのまま生かしたアイスコーヒーに仕上がることから、豆本来の良さや焙煎の深浅がダイレクトに繁栄されます。



1 grass
¥650 (税込)

「日本蜜蜂のフィナンシェ」が大田原ブランド品に認定されました!

2023年11月より販売中の「日本蜜蜂のフィナンシェ」が、2024年2月9日に「大田原ブランド」に認定されました。

hikari no café で仕入れている地元の米農家の米粉と、蜂巢小珈琲店で養蜂しているニホンミツバチの蜂蜜を使用した、農業と福祉が連携して開発された一品です。



『日本蜜蜂のフィナンシェ』
- フランス料理 音羽シェフ監修 -

3個入 ¥888 (税込)

蜂巢小珈琲店限定



こちらもおすすめ



茶羅の SODA ALL ¥580 (税込)

- (手前から)
- 深海ソーダ (ブルーキュラソーベース)
- 山吹ソーダ (みかんベース)
- 花紫ソーダ (巨峰ベース)
- 紅ソーダ (ザクロベース)
- 新緑ソーダ (青りんごベース)



茶羅

メロンクリームソーダ

¥605 (税込)

昔懐かしい喫茶店の定番メニュー。

☕ コーヒー豆知識 💡 《コーヒーの味を知る》

コーヒーの味を決めるのは、木の品種・精製方法 (コーヒーの実から種を取り出す方法)・焙煎・抽出方法と様々です。今回は「品種」について、勉強していきましょう!

< コーヒー3大原種 >

【アラビカ種】

エチオピア原産で最もポピュラーな種類であり、世界で最も多く栽培されています。品種が多く、ティピカ種やブルボン種など様々な種類があります。高地で栽培され、収穫できるまでに5~6年かかるといわれています。どの原種よりもコーヒーの味がおいしく、品質も高いとされています。

【カネフォラ種 (ロブスタ種)】

酸味や苦みの強い種ですが、成長が早くコーヒー豆の収穫量が多いため、生産量の3~4割を占めています。少量の豆でも抽出される量が多いのでインスタントコーヒーの原料や缶コーヒーとして使われています。

【リベリカ種】

世界でも一部の地域でしか栽培されていないため、生産量が最も少なく日本ではほとんど馴染みがありません。また、10m以上の大木に成長するため収穫が難しいことや、豆の大きさにばらつきがあるため焙煎しにくいなども原因となっています。

「コーヒー豆」とは「豆」ではなく、アカネ科の植物「コーヒーの木」の「種子」だということを知っていますか?



私たちがよく知るコーヒー豆は、「コーヒーの木」という植物の実の中に入っている「種子」です。この実は、まるでさくらんぼのように赤く熟すことから「コーヒーチェリー」と呼ばれます。コーヒーチェリーを加工処理してから乾燥した生豆の状態が輸出されます。そして、生豆を焙煎したものがコーヒー豆となります。

※ hikari no café

では、100% アラビカ種を使用しています。生産国ごとの繊細な味の違いを楽しんでください。



フォローして、最新情報を check ♪



instagram

Facebook

✧ 社会福祉法人 エルム福祉会

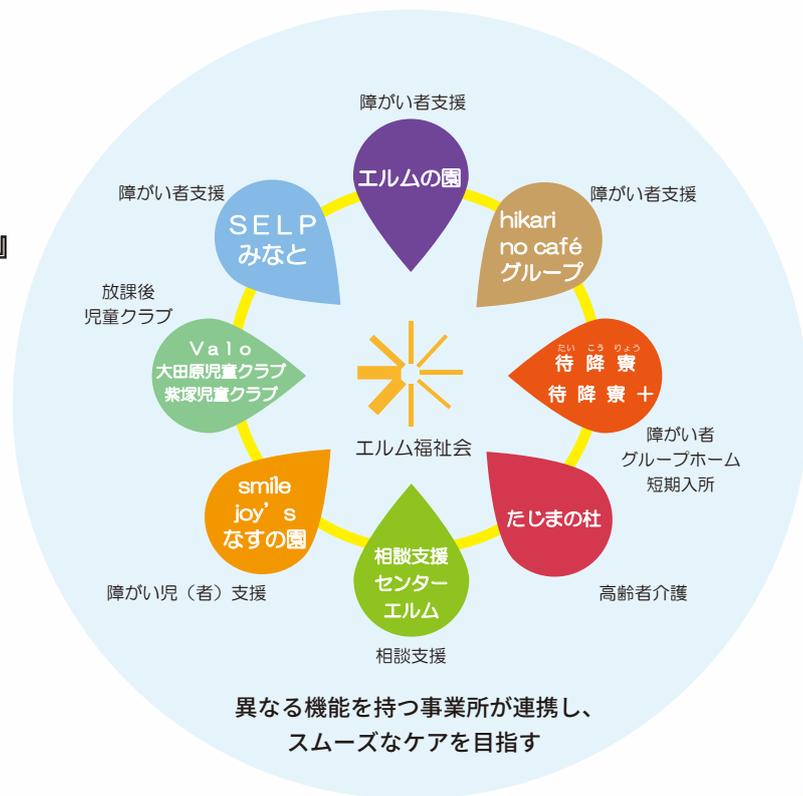
— vision —

『地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる』

基本理念 | キリスト教精神に則り
隣人愛をもって社会に参加する

経営理念 | 福祉で明るい未来を創造する

経営指針 | 『私たちは、福祉の精神で社会に
貢献し、誰もが地域の一員として
安心して暮らし、生きがいを持っ
て活動できるユニバーサル社会を
築くことを目指します』



事業所一覧

障がい者福祉サービス

エルムの園	〒324-0062	栃木県大田原市中田原 381	TEL/FAX 0287-20-3117
SEL P みなと	〒324-0041	栃木県大田原市本町 1-2701-229	TEL/FAX 0287-23-6106
✧ hikari no café 本店	〒324-0041	栃木県大田原市本町 1-2701-23	TEL/FAX 0287-23-2227
✧ hikari no café 蜂巢小珈琲店	〒324-0244	栃木県大田原市蜂巢 295	TEL/FAX 0287-54-2255
✧ hikari no café 大田原市庁舎店	〒324-0041	栃木県大田原市本町 1-4-1 大田原市庁舎 1F	TEL 080-7418-9166
✧ hikari no café 茶 羅	〒324-0058	栃木県大田原市紫塚 1-4-3	TEL 0287-23-1979

障がい者グループホーム

待降寮	第1待降寮～第11待降寮	障がい者グループホーム 大田原市, 那須塩原市
待降寮+	第10待降寮	障がい者グループホーム+短期入所 大田原市

障がい児(者)福祉サービス

s m i l e	〒324-0062	栃木県大田原市中田原 586-7	TEL/FAX 0287-23-9311
j o y ' s	〒324-0062	栃木県大田原市中田原 631-3	TEL/FAX 0287-23-6620
なすの園	〒329-3144	栃木県那須塩原市沼野田和 493-1	TEL/FAX 0287-74-2300

放課後児童クラブ

放課後児童クラブ V a l o	〒324-0058	栃木県大田原市紫塚 1-3-10 紫塚メゾン 1F	TEL/FAX 0287-48-7520
大田原児童クラブ	〒324-0052	栃木県大田原市城山 1-6-7	TEL/FAX 0287-23-7044
紫塚児童クラブ	〒324-0058	栃木県大田原市紫塚 1-7-1	TEL/FAX 0287-23-9572

介護保険サービス(地域密着型)

たじまの杜	〒329-2733	栃木県那須塩原市二区町 500-5	TEL/FAX 0287-48-7553
-------	-----------	-------------------	----------------------

一緒に働きませんか？



価値観が明確です

法人としての指針が明確になっており、全員が同じ方向を向いて働いています

女性が活躍できる職場

女性の「主任」以上の割合 60%

育児休暇が100%取れる

皆さん1年～1.5年取っています
パート職員も男性職員も取得できます

研修やっています

価値観研修・ハラスメント研修
新人職員研修 他

残業ゼロを目指しています

ワークライフバランスを
充実させる為に

資格取得補助制度あり

働きながら資格を取る方が多くいます

放課後等デイサービス 正職員・パートタイム

理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)・
言語聴覚士 (ST)・保育士・支援員

月給：186,366～251,745円
時給：977円～1,200円
勤務地：大田原・那須塩原
資格：PT・OT・ST・保育士・社福祉等

グループホーム職員

・世話人
・生活支援員

時給：977円～1,200円
夜勤1回 10,000円～
勤務地：大田原・西那須野
資格：不問
※正職員は随時募集
※経験が無くても問題ありません

パートタイム 送迎職員

児童指導員・支援員補助・送迎
(障がいをお持ちのお子様と遊びながら支援を行う)

時給：977円～1,200円
勤務地：大田原
資格：不問

※正職員は随時募集

- ・ご応募の前に事業所見学も承っております。お気軽にご相談ください。
- ・各求人詳しい情報は、エルム福祉会ホームページの「情報公開」ページをご覧ください。
- ・ご応募の際は、最寄りのハローワークをご利用ください。
- ・採用に関するお問い合わせ先 … Tel 0287-22-8011 エルム福祉会 採用担当 高秀 (タカヒデ)



エルム福祉会
「情報公開」へ

やってみよう！ まちがいさがし



左右の絵を比べて、間違いがいくつあるか当ててみましょう♪

下記の①～③を記入し、応募フォーム QR よりご応募ください。(はがきまたはメールに必要な事項を記入してお送りしてもご応募可能です。)

正解者より抽選で10名様に、hikari no café 蜂巢小珈琲店(限定)で使える、ランチ無料券をプレゼント♪

- ①間違いの数は何個でしょうか？
A. 5個 B. 8個 C. 11個
- ②住所・氏名・TEL
- ③今回の記事を読んだのご感想・ご意見

応募フォーム QR



【はがきまたはメールの場合】

〒324-0244 栃木県大田原市蜂巢 295
hikari no café 蜂巢小珈琲店
Mail: info@hikarinocafe.com

編集後記

hikari Letter 2024年春号をお読みいただき、ありがとうございます。今号では多くのページにて、障がいを持った方の「働く」にフォーカスしました。

現在の日本では、働く障がい者は増加傾向にありますが、障がい者雇用の職場理解が進んでいない企業は決して少なくありません。

障がいを持っている方でも、生きがいをもって働き、豊かな生活が送れる様に、合理的な配慮をしていける環境を作っていかなければならないと考えます。

次号もぜひご覧くださいませ！



表紙のテーマ
就労支援事業所で働く利用者様

応募×切 2024年6月末日 (はがきの当日消印有効)

- ※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- ※個人情報は、プレゼントの発送と誌面づくりの参考にのみ使用いたします。

前回(2023年秋号)の答え8個



発行日：2024年5月1日
発行：社会福祉法人エルム福祉会
〒324-0062 栃木県大田原市中田原 381
TEL 0287-22-8011



エルム福祉会
公式ホームページ
もチェック！

次号は2024年秋に発行予定です♪

